



まなびの窓

令和4年4月28日発行

子どもたちの学びのために何ができるか

新学期が始まって、1か月が経とうとしています。お子さんの学習のスタートはいかがでしょうか。

ところで、学校（教師・職員）が、保護者の皆様が、子どもたちの学びのためにできることは何でしょうか。

それは、環境を整えてあげることではないでしょうか。

学校では、安心して学べることが大切だと考えています。自分の考えを安心して伝えることができる。わからないことを安心して言うこと（質問すること）ができる。そんな環境作りを心掛けていきます。

ご家庭で整えていただきたいことは、

学習用具を整える。（ときどきは確認）

生活時間を工夫する。（なるべく、早寝、早起き、朝ご飯）

学習の場を工夫する。（集中できる環境）

そして、学校でも家庭でも、やる気がアップする言葉かけを意識すること、褒めることが実はとっても大切です。「〇年生になって〇〇なところ、がんばっているよね。」・・・是非、探して伝えてあげてください。

学びの主役である子どもたちのために、できることをしていきましょう。

○学習用具についてのきまりです。確認をお願いします。

◆削ってある鉛筆 5, 6本

（低学年）2BかB 5本

（中学年）BかHB 6本

（高学年）BかHB 6本

※書写（硬筆）ではBか2Bの使用をおすすめします。

◆短い定規 ※筆入れに入る長さ、正しい目盛りがついている物

※折れ曲がらないタイプの物をおすすめします。

◇国語、算数は毎日持ち帰ります。

◇理科、社会は自主学習で使う日に個人で持ち帰ります。テストの前などには持ち帰りを指導します。（3～6年生）

◆赤、青鉛筆またはペン 1本ずつ

◆消しゴム1個

※よく消える物

◆下じき

宿題と自主学習って何が違うの???

家庭での学習時間について

押上小では、家庭学習時間のめやすを

$\text{学年} \times 10 \text{分} + 10 \text{分}$ と設定しています。

※家庭学習は、宿題＋自主学習の時間です。

1年生	20分
2年生	30分
3年生	40分
4年生	50分
5年生	60分
6年生	70分

宿題と自主学習は目的が違います。

宿題は、全員が同じ物に取り組むことを前提に量や内容を考えています。学習のいちばん基本となる部分の定着を目的にしています。

ケーキで言うと、土台のスポンジの部分ですね。



《宿題のめやす》

- 1～4年生・・・音読＋算数や国語のプリント1枚～2枚
音読＋漢字スキル（ドリル）または漢字練習1～2ページ
週末自主学習や週末読書
- 5，6年生・・・音読＋漢字＋算数（計算）ドリル＋自主学習1ページ

自主学習は、自分に合わせた量や内容の学習をすることができます。

「〇〇に興味があるから調べてみよう。」

「〇〇の問題を間違えたから、もう一度解いてみよう。」

「〇〇の漢字が覚えられないから〇〇を使った言葉を集めてみよう。」

スポンジの上に生クリームを塗ったり、イチゴをのせたり・・・クリームをチョコ味にしたり、間にフルーツを挟んだり…



例えば、同じ漢字練習でも、宿題では、「〇ページの漢字を1行ずつ1ページ」等と、内容も量もやり方も決められています。自主学習では、自分に合わせた漢字を、自分に合ったやり方で、自分に合った量だけ、することができます。

・・・そして自分のおいしいケーキができあがります。

でも、低学年では、自主学習を自分一人でするのは難しいですね。では、低学年は自主学習をする必要はないのでしょうか。答えはノーです。低学年のときに、お家の方と自主学習を一緒にすることで、学習の楽しさや学び方を身につけていき、それが、中学年、高学年・・・とつながるとは思いませんか。家庭学習がより充実するように、「一緒にやる」「アドバイスをする」「まるつけをする」「褒める」お子さんに合った支援をお願いします。